

株式会社ダイフク
平成27年3月期
第1四半期決算説明資料



平成26年8月8日

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

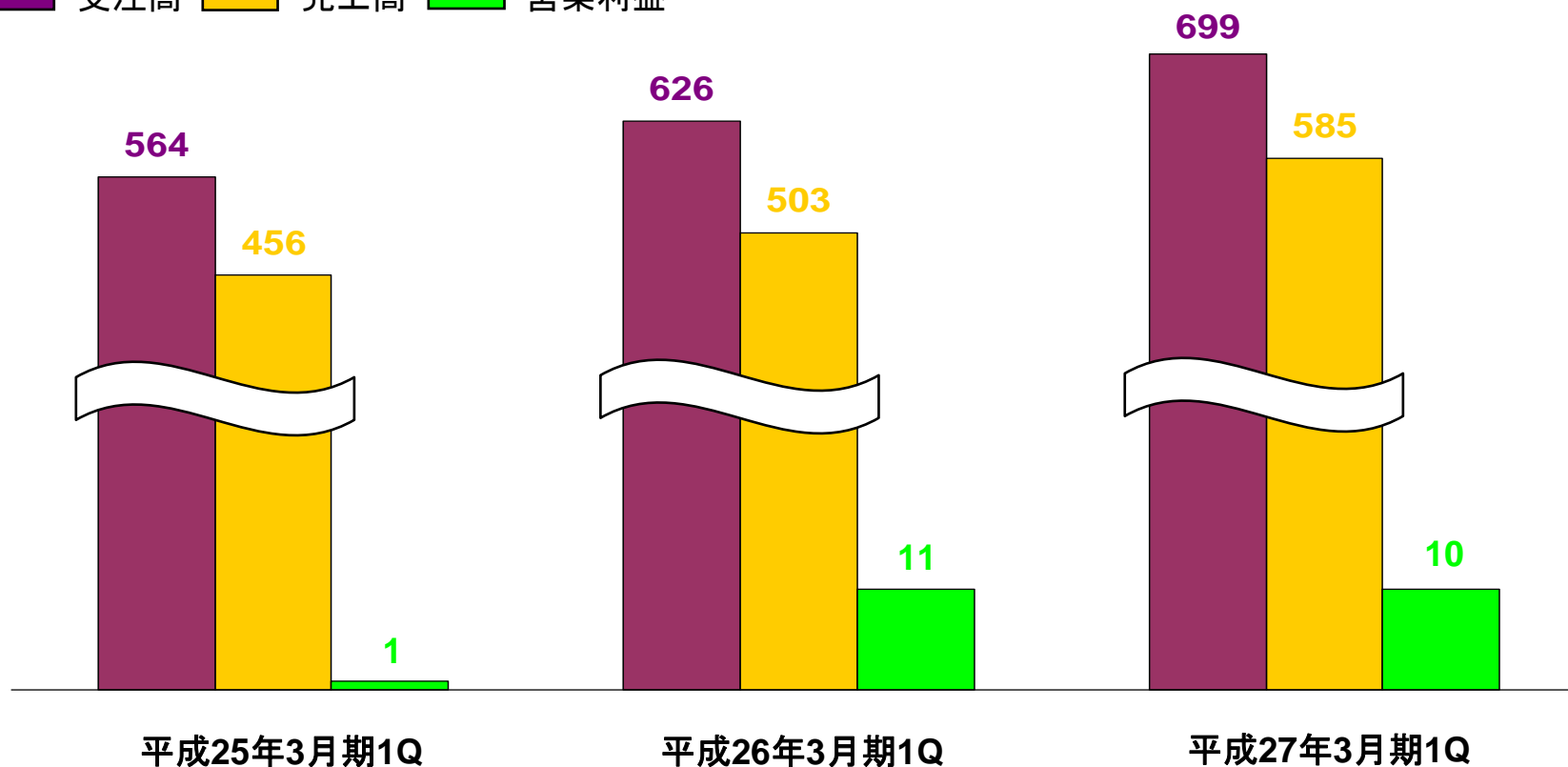
受注・売上ともに北米が大幅増。

アジアのエレクトロニクス向けが伸張。

【第1四半期業績推移】

(単位: 億円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ 営業利益



平成27年3月期第1四半期業績(連結)

DAIFUKU

2

(単位: 億円)

	平成27年3月期1Q	前年同期	対前年同期比
受注高	699.7	626.8	11.6%増
売上高	585.3	503.6	16.2%増
営業利益	10.1	11.1	9.7%減
経常利益	13.7	14.0	1.8%減
四半期純利益	11.1	9.5	16.8%増
包括利益	△0.48	46.7	47.2億円減

1株当たり 四半期純利益	10.10円	8.65円
-----------------	--------	-------

(単位: 億円)

	受注高		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (四半期純利益)	
	平成27/3期1Q	前年同期	平成27/3期1Q	前年同期	平成27/3期1Q	前年同期
ダイフク	291.5	263.0	240.1	246.4	7.9	6.7
コンテック	36.4	36.5	32.4	26.2	2.6	△1.8
DWHC※	187.4	111.2	209.6	113.1	2.8	2.2
その他	184.2	216.0	122.4	129.6	5.8	6.9
連結調整等	-	-	△19.4	△11.8	△8.0	△4.5
計(調整後)	699.7	626.8	585.3	503.6	11.1	9.5

※ DWHC=DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY

連結貸借対照表

DAIFUKU

4

(単位: 億円)

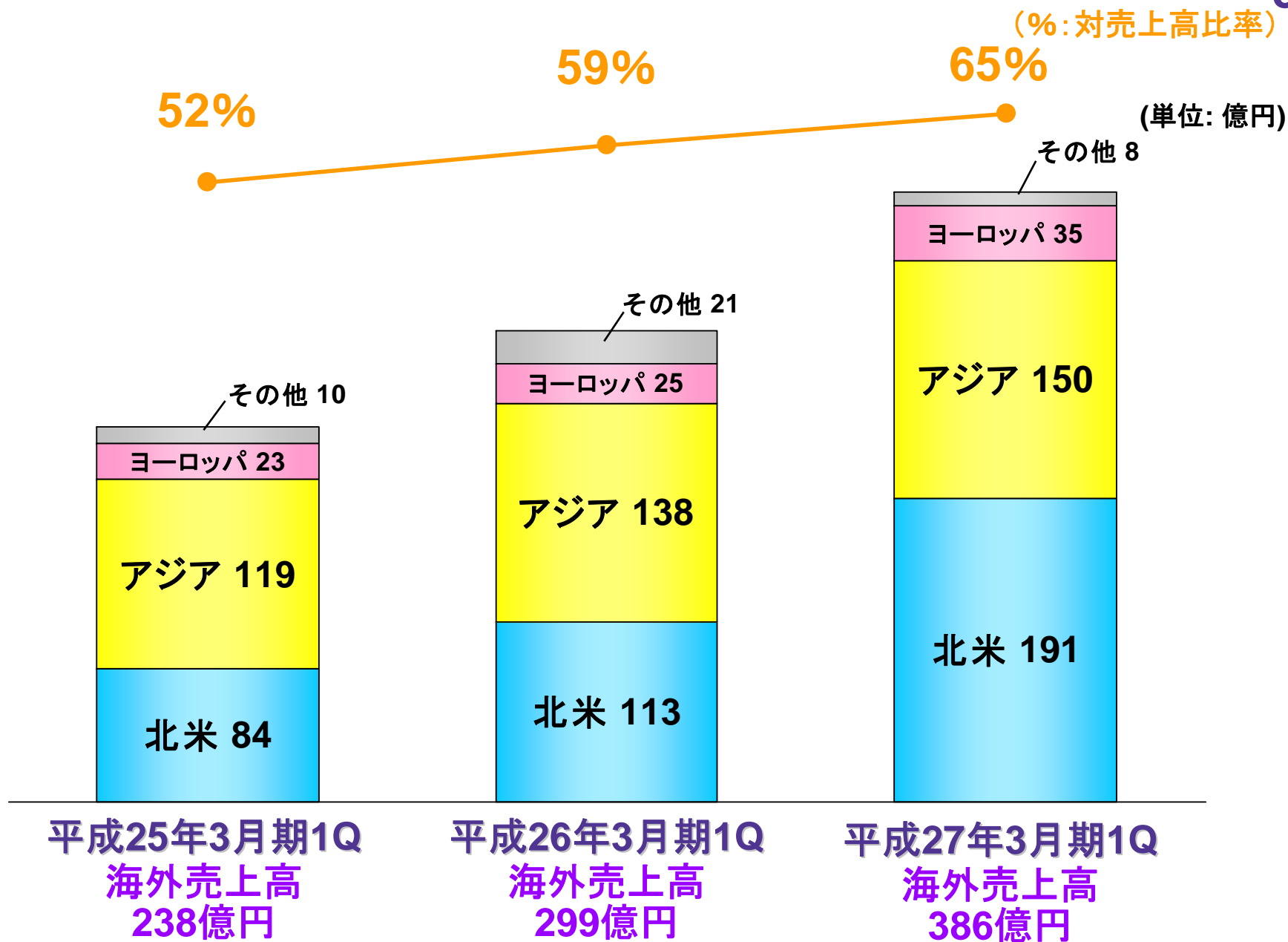
平成27年3月期1Q 平成26年3月期 平成26年3月期1Q

平成27年3月期1Q 平成26年3月期 平成26年3月期1Q

流動資産	1,677.1	1,707.8	1,435.3
現金及び預金	555.2	521.3	372.1
売上債権	756.6	895.5	772.8
棚卸資産	264.7	203.8	206.0
その他	100.4	87.1	84.2
固定資産	768.5	787.4	680.9
有形固定資産	335.9	340.7	320.1
無形固定資産	141.2	148.5	100.5
のれん	97.3	101.3	68.3
その他	43.9	47.1	32.2
投資その他の資産	291.3	298.1	260.2
資産合計	2,445.6	2,495.3	2,116.2

流動負債	816.1	837.1	945.1
仕入債務	438.9	468.8	348.3
短期借入金・社債	69.4	70.1	346.9
その他	307.6	298.1	249.9
固定負債	647.3	661.2	278.0
長期借入金・社債	510.8	511.2	191.3
その他	136.4	150.0	86.7
負債合計	1,463.4	1,498.4	1,223.2
株主資本	903.8	906.5	844.0
その他の包括利益累計額	50.0	61.8	27.2
少数株主持分	28.3	28.4	21.7
純資産合計	982.2	996.9	893.0
負債純資産合計	2,445.6	2,495.3	2,116.2

海外売上高の推移



海外地域別売上高

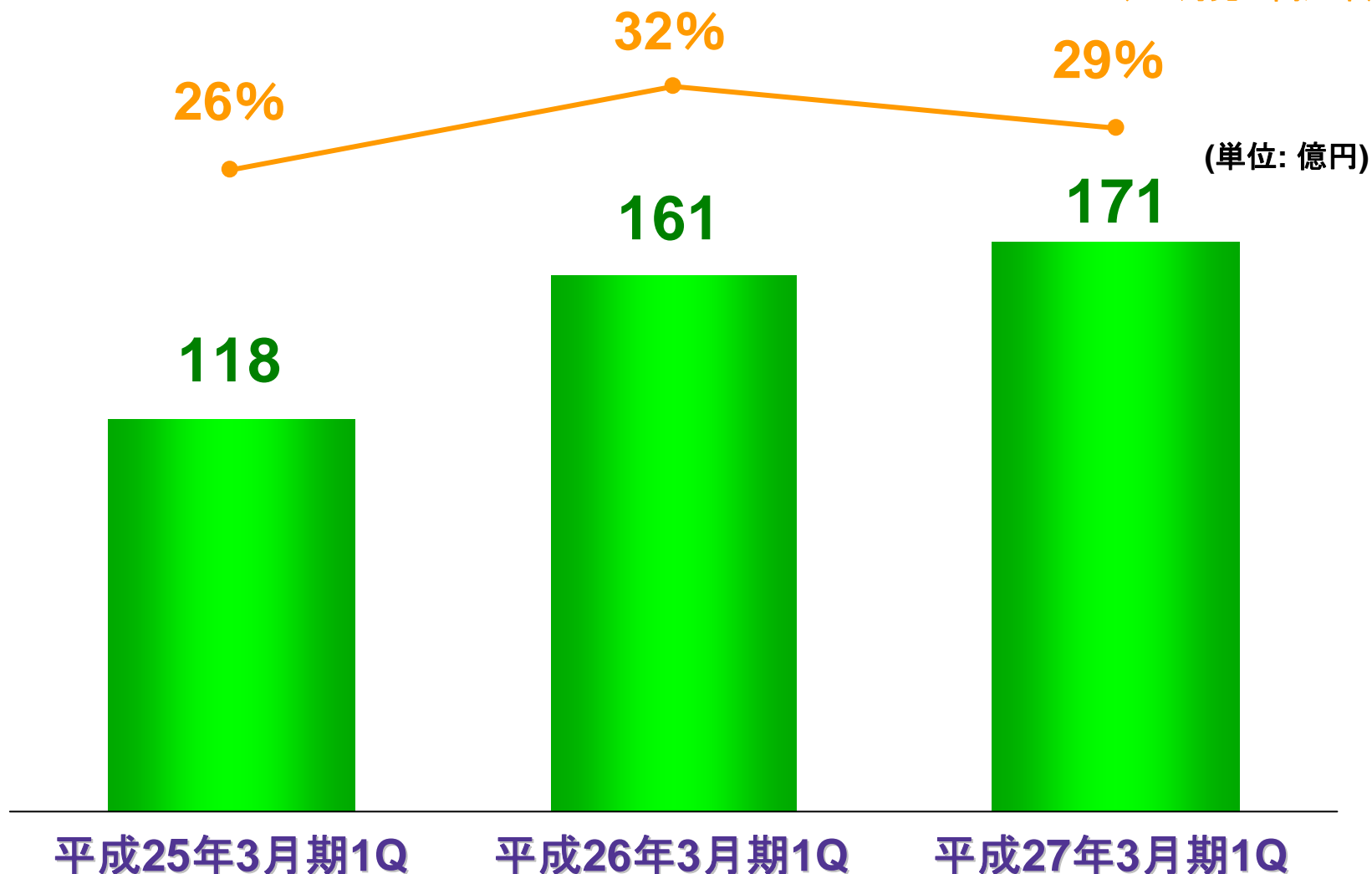
(単位: 億円)

地区	国名	平成25年3月期1Q		平成26年3月期1Q		平成27年3月期1Q	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
北米		84.8	35.6	113.8	38.0	191.8	49.6
アジア		119.6	50.2	138.9	46.4	150.2	38.9
	中国	18.4	7.7	41.4	13.8	55.7	14.4
	韓国	46.0	19.3	37.2	12.4	53.6	13.9
	台湾	28.3	11.9	24.5	8.2	10.8	2.8
	タイ	13.8	5.8	18.4	6.2	13.4	3.5
	その他	13.1	5.5	17.4	5.8	16.7	4.3
ヨーロッパ		23.3	9.9	25.1	8.4	35.8	9.2
中南米		4.3	1.8	18.5	6.2	3.6	1.0
その他		6.0	2.5	2.8	1.0	4.8	1.3
合計		238.0	100.0	299.1	100.0	386.2	100.0

サービス売上高の推移

※サービス売上高: 納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

(%: 対売上高比率)



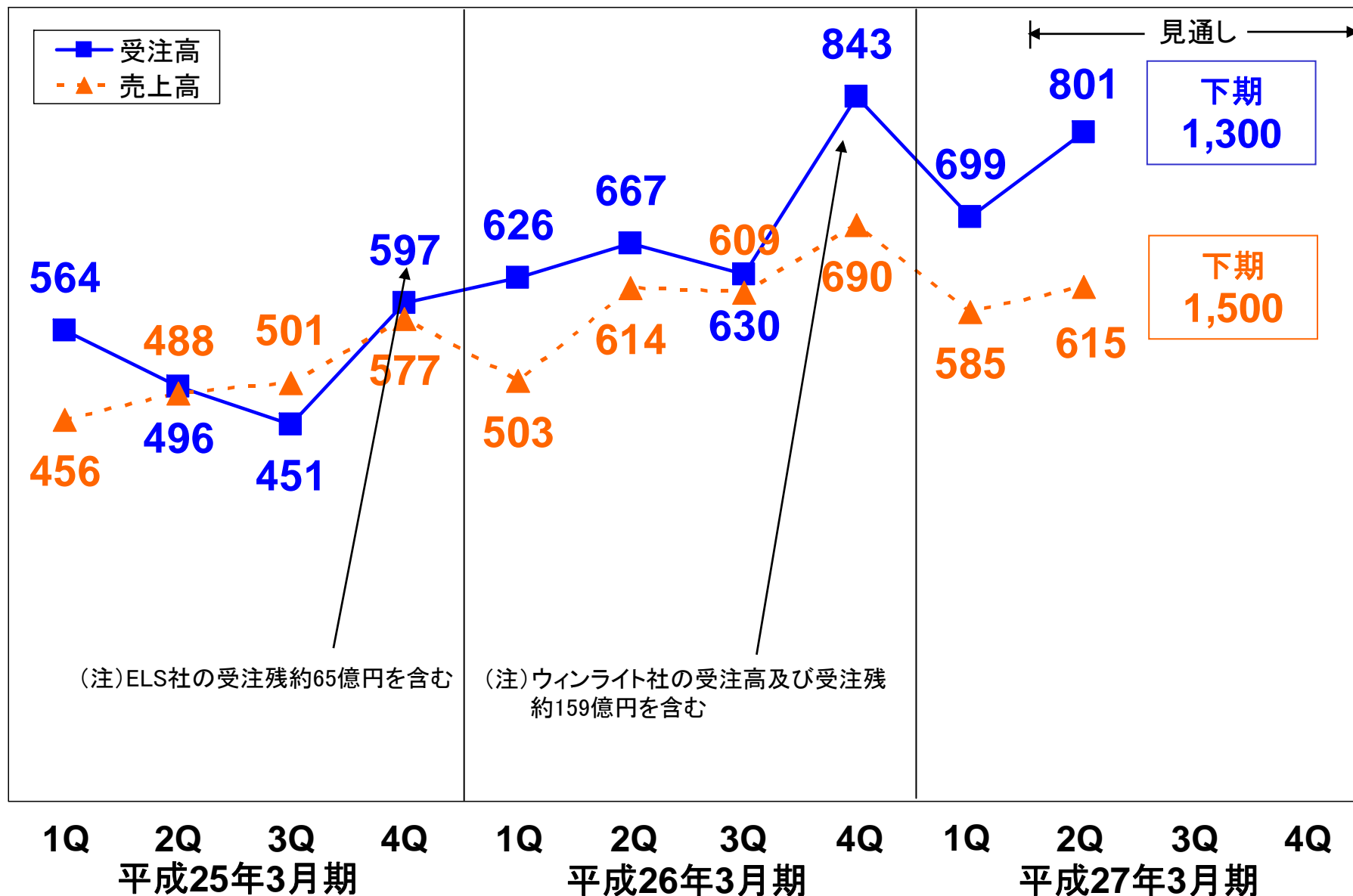
受注・売上ともにエレクトロニクスが増加

(単位: 億円)

業種	受注高				売上高			
	平成27年3月期1Q		平成26年3月期1Q		平成27年3月期1Q		平成26年3月期1Q	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および 自動車部品	171.4	24.5%	147.2	23.5%	136.1	23.3%	148.4	29.5%
エレクトロニクス	171.9	24.6%	103.4	16.5%	146.6	25.0%	104.6	20.8%
商業および 小売業	142.8	20.4%	168.8	26.9%	119.0	20.3%	104.9	20.8%
運輸・倉庫	31.1	4.4%	18.1	2.9%	37.1	6.3%	12.1	2.4%
機械	33.4	4.8%	14.5	2.3%	15.6	2.7%	12.3	2.5%
化学・薬品	42.5	6.1%	35.6	5.7%	23.2	4.0%	21.8	4.3%
食品	37.3	5.3%	27.3	4.4%	16.0	2.7%	12.4	2.5%
鉄鋼・非鉄金属	12.4	1.8%	10.3	1.6%	8.3	1.4%	8.9	1.8%
精密機器・ 印刷・事務機	7.7	1.1%	7.1	1.1%	6.8	1.2%	7.2	1.4%
空港	23.2	3.3%	57.0	9.1%	48.4	8.3%	45.3	9.0%
その他	26.0	3.7%	37.5	6.0%	28.2	4.8%	25.7	5.0%
合計	699.7	100.0%	626.8	100.0%	585.3	100.0%	503.6	100.0%

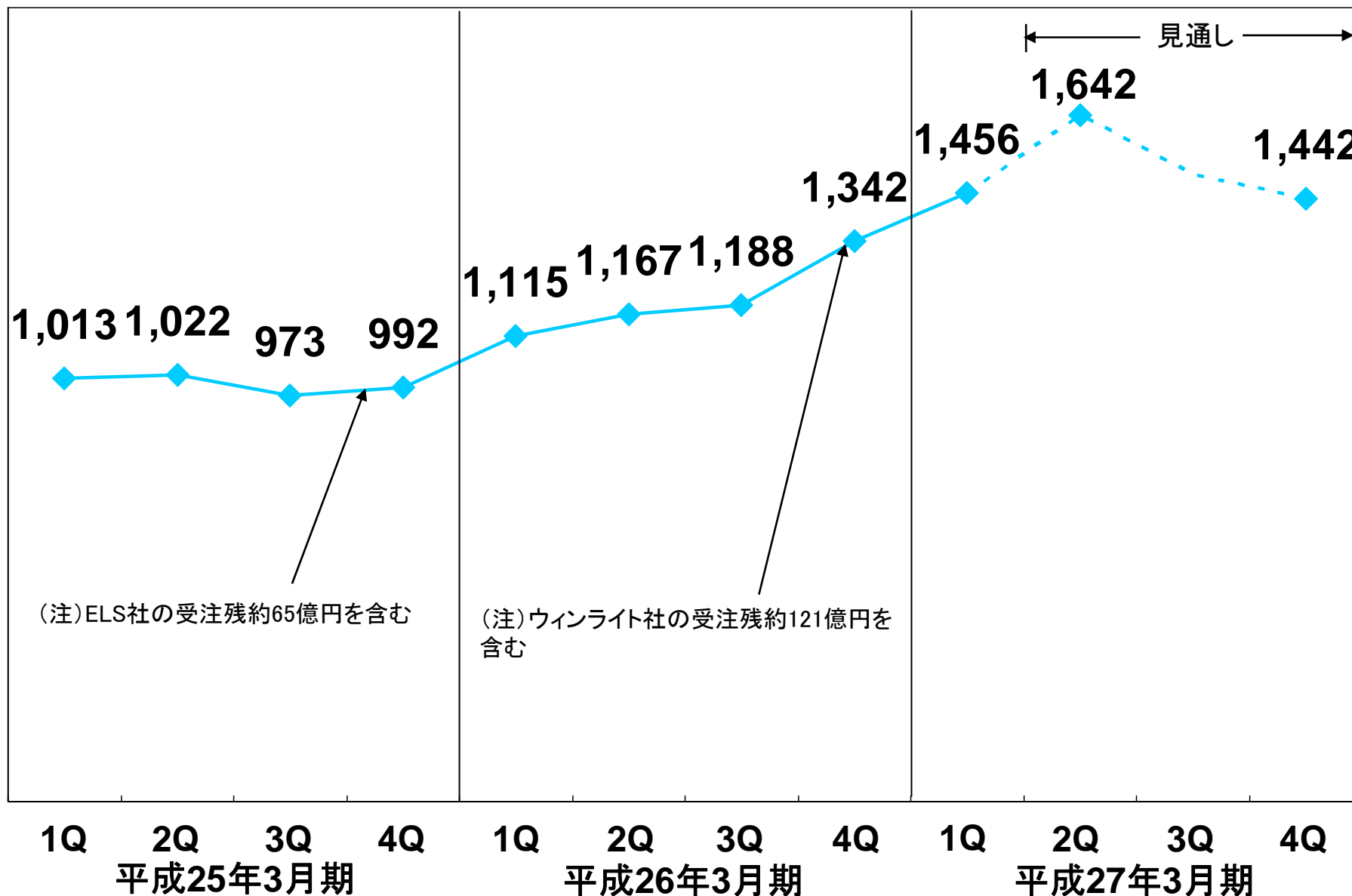
受注高、売上高の四半期ごとの推移

(単位: 億円)



受注残の推移

(単位: 億円)



平成27年3月期第2四半期業績予想 (連結累計)

DAIFUKU

11

(単位: 億円)

	5月14日公表	8月8日修正公表	前年同期	対前年同期比
受注高	1,500	1,500	1,293.9	15.9%増
売上高	1,300	1,200	1,118.5	7.3%増
営業利益	60	43	45.9	6.4%減
経常利益	61	46	50.5	8.9%減
当期純利益	40	31	32.5	4.7%減

平成27年3月期業績予想 (連結)

DAIFUKU

12

(5月14日公表値を変更せず)

(単位: 億円)

	平成27年3月期	前年同期	対前年同期比
受注高	2,800	2,768.3	1.1%増
売上高	2,700	2,418.1	11.7%増
営業利益	140	125.5	11.5%増
経常利益	143	131.9	8.4%増
当期純利益	88	77.4	13.7%増

■ グローバル・コンパクトに署名

4月25日、人権・労働・環境・腐敗防止に関する10原則からなる「国連グローバル・コンパクト」の趣旨に賛同し、署名。CSR活動をさらに強化していく

国連グローバル・コンパクトに署名



Network Japan
WE SUPPORT

2014年4月、当社は「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則（囲み参照）からなる「国連グローバル・コンパクト」（UNGC）に署名しました。

署名は、ESG（環境、社会、企業統治）に関するグローバルな情報開示が要求されるようになったことを背景に、CSR活動の一環としてUNGCの趣旨に賛同し、意思表示するものです。

UNGCは、企業が社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。世界で1万2,000以上の企業・団体が署名・参加しています。

署名は、ESG（環境、社会、企業統治）に関するグローバルな情報開示が要求されるようになったことを背景に、CSR活動の一環としてUNGCの趣旨に賛同し、意思表示するものです。



グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークの有馬代表理事に、賛同する意思を表明したレターを手渡す当社社長（写真左）

グローバル・コンパクトの10原則

人 権：人権擁護の支持と尊重／人権侵害への非加担
 労働：組合結成と団体交渉権の実効化／強制労働の排除
 児童労働の実効的な排除／雇用と職業の差別撤廃
 環境：環境問題の予防的アプローチ／環境に対する責任のイニシアティブ
 環境にやさしい技術の開発と普及
 腐敗防止：強要・賄賂等の腐敗防止の取組み

■ 日本MH大賞に生協向け個配システム

当社ピッキングシステムの「eye-navi」と「ジャングルカート」が第24回大賞受賞。新規性や機能性、将来性などが高く評価された



「eye-navi」による
ピッキング



「ジャングルカート」

■「国際物流総合展2014」出展のお知らせ

2年に1度のアジア最大規模の物流専門展示会。
9月9日～12日に東京ビッグサイトで開催。
最新の物流設備を出展



前回(2012年)のダイフクブース

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。